

実践ハンドブック

静かなシステムの現場ノート

信頼できるデジタル運用の実践手引き

田中 陽菜

灯台工房

静かなシステムの現場ノート

静かなシステムの現場 ノート

信頼できるデジタル運用の実践手引き

田中 陽菜

灯台工房
大阪

Copyright 2026 田中 陽菜

無断転載を禁じます。本書は架空の見本です。

初版

発行 灯台工房, 大阪

2026

ISBN 978-1-7380000-6-6 (sample)

信頼性を当たり前に見せる運用チームへ。

目次

01 第一章 次の行動を明らかにする

02 付録: 第三章 復旧経路を設計する

03 用語集

参考文献

01

次の行動を明らかにする

信頼できるシステムは、過去をすべて復元しなくても動けるだけの文脈を渡します。



運用上の約束を書く

ワークフロー

1. 運用上の約束を書く

$$R = \frac{n_{pass}}{n_{scheduled}} \times 100$$

運用上の約束を書く

警告: 良いアラートは影響を受けた約束を示し、現在の根拠と安全な次の一手を伝える。^[1]

兆候	担当	最初の行動
準備確認の失敗	当番エンジニア	新規処理を止め依存先を確認

promise -> signal -> owner -> safe action

チェックリスト

- ☒ 初動の担当を一つにする
- ☒ すべての兆候を最新の根拠へ結ぶ
- ☒ 行動を変えない確認を廃止する

付録: 第三章 復旧経路を設計する

復旧は製品の一部です。明確な状態、限られた再試行、担当者、完了の見える定義が必要です。

設定例

```
curl -fsS "$SERVICE_URL/ready"
```

```
promise: checkout_available
owner: on_call
```

```
{"status":"ready","queue_age_seconds":42}
```

運用記録

id	svc-01
promise	checkout
signal	queue_age
owner	on_call
threshold	120s
evidence	dashboard
action	reduce_intake
review	15m
exit	stable

用語集

運用上の約束 — チームが明示的に守る、利用者に見える振る舞い。

参考文献

本見本の組織、事例、識別番号はすべて架空です。

...

-
1. 本見本の組織、事例、識別番号はすべて架空です。 [←](#)

静かなシステムは問題を隠しません。危険を早く見せ、文脈を残し、安全な次の行動を示します。この架空の手引きは原則をチェックリストと運用パターンへ落とし込みます。

厳密で明快、しかも大げさではない。

システム実践レビュー

著者について

田中陽菜は、人に配慮した障害対応と持続的な運用を扱う架空の信頼性講師です。

example.invalid

灯台工房

ISBN

978-1-7380000-6-6

(sample)